

2022年1月4日

株式会社日立システムズ
代表取締役 取締役社長 柴原 節男

2022年 社長年頭挨拶(要旨)

昨年(2021年)は新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響に加え、世界的な半導体不足の影響も重なり、事業活動が制限された1年でしたが、そのような中でも感染予防に努めながら事業活動を継続し、2021 中期経営計画の達成に向けて取り組みました。

また、昨年10月1日(木)をもちまして日立システムズは10周年を迎えました。10周年を記念して従業員のエンゲージメント向上などを目的としたイベントをオンラインで開催し、さらなる日立システムズグループの一体感醸成を図りました。

日立システムズグループでは、従業員とご家族の皆さまの健康と安全を第一に考え「健康と安全はすべてに優先する」の基本姿勢のもと、定期健診や再検診の受診フォロー、長時間労働者の就業環境改善、在宅勤務における心のケア等のさまざまな施策を推進しています。

日立システムズグループの従業員には、「健康と安全はすべてに優先する」を基本的な行動指針として活動し、以下の3点をお願いしています。

1. 健康と安全の徹底
2. 基本と正道の徹底
3. 2021 中期経営計画の達成と2024 中期経営計画のスタートに向けて

日立システムズは今年4月、新たに2024 中期経営計画をスタートします。

2024 中期経営計画では、これまで固めてきた基盤を活用して、成長をめざすステージに移行していきます。

成長を加速するうえで2022 年度を重要な年度と位置づけ、各事業グループや国内外のグループ会社、さらには日立グループ、パートナーと連携し、お客さまのデジタルトランスフォーメーション(DX)へのニーズにいち早く対応し、さまざまな側面から支援してまいります。

新しい年が、お客さま、パートナー、日立システムズグループ従業員および家族をはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまにとって、健康で公私ともに充実した明るい一年となることを祈念します。

以上